
箱庭の自由人

虚構ノ物語

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

箱庭の自由人

【Nコード】

N7245J

【作者名】

虚構ノ物語

【あらすじ】

旅に束縛は存在しない。そう信じて始めたこの旅も、結局は介入者が入り自由で無くなった。

東西南北を死の砂漠に封鎖された世界【エキスパンダム】は、大空に浮ぶ天空都市に望みを賭け、今日も空へと戦いを挑む。その先に自由があると信じ。

旅人シュレイと詩人ミルフィーユのデコボココンビに+ 蛮族ベール、彼等は次第に世界の真理を巡る陰謀に巻き込まれていく。

果てを知らない人類の、果てを悟った人々による、少しだけ背伸

びし前身した物語。

プロローグ

楽な依頼がある、そんな危険な誘惑を鵜呑みにした事を少し後悔し、「愉快だねえホント」などと愚痴が出てきた。

荷を載せた馬車が全速力で砂漠を横断する。後を追うように巨大な影が黄砂を巻き上げながら疾走する。弱肉強食のこの世界、強者は久方振りの馳走にありつこうと砂塵の中から洞窟のように大きな口を覗かせる。弱者、この場合は俺達がそれに当たるが、馬の体力と俺達の命が尽きない事を願うばかりだ。

「馬頑張れ気張れ！ ゲートに入っちまえばこっちのもんだ！」

ここで脳裏に残念な仮説が生まれる。

ゲートは本来、外界の異分子から町や村を守るために存在する。それがどうだ、砂漠の主よろしくみたいなコイツがゲート目掛けて突進してくるのに、ゲートを開けっ放しにする馬鹿は世界中捜してもいるはずがない。

仮説が正しければ、ゲートに阻まれ、背後の化物に食われるというサンドイッチの構図が完成する。結局は実力行使しか生きる道は残されていないのだと悟る。こんな選択肢しか選べない自分がちょっと憂鬱だ。

「馬見ててくれ」

今回の同業者その1に馬を任せ、荷台の後方に移動する。爆走する強者を見つけるの容易。未だ見せない姿からでも容易く想像がつく巨漢。的にするにはもってこいだ。

「鬼ごっこはもうやめだ。終いにしようや」

周囲は乾燥地、よって自然の力は抜きで加減になる。
体内を廻る血の解放。電気信号を操作。信号を攻撃に変換。全神
経を右手に集中。

「弱者の僅かな抵抗だ。ありがたく受け取りやがれ！！」

例えるなら一閃。比べるなら神の戯れ。純粹な殺戮の槍が天より
強者を貫く。反応することはできず、気づくことなど尚できず、弱
者の一噛みに沈む強者は砂漠の塵へ帰る。

「飯代稼ぐ前に危うく俺が飯になるとこだったぜ」

同業者からの歡喜の叫びに苦笑いで答えながら、再び馬の手綱を
握る。前方に見える巨大な門を確認した時、今日も無事に生きてい
たことを神に感謝した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7245j/>

箱庭の自由人

2010年10月9日02時54分発行